

図書館だより



愿んやく

翻訳本で広がる世界

9月30日は「世界翻訳の日」(International Translation Day)です。元の言語では読めなかったものが読めるのは翻訳者による翻訳のおかげ。三商図書館にもたくさんある翻訳本の中からおすすめをピックアップ!



『わたしを離さないで』

カズオ・イシグロ著 土屋政雄訳
早川書房 913.6-イ

「提供者」と呼ばれる人たちの世話をする介護人キャシー・H。あらすじはあえて詳しく説明しないでおきます。ディープで、考えさせられる話とだけ覚悟して読んでみてください。作者のカズオ・イシグロは2017年にノーベル賞を受賞。ノーベル賞文学というと難しそうですが、とても読みやすい翻訳版。

『キャッチャー・イン・ザ・ライ』

J.D.サリンジャー著 村上春樹訳
白水社 933-サ

アメリカの小説家、J.D.サリンジャーによる青春文学の名作を村上春樹さんが翻訳しました。16歳のホールデンは学校から退学処分を受け、ニューヨークをさまよいます。斜に構えながらも様々な人と交わる主人公。人間同士が密な1950年代当時の空気感、SNS全盛の現代に通じる、かも。お試しあれ。



『ソフィーの世界』

ヨースタイン・ゴルデル著
池田香代子訳 日本放送出版
949-コ

14歳のソフィーが、送られてくる手紙を読みながら哲学的問いについて考えます。哲学、人生や世界の意味・原理を探究する学問。つかみどころのないような言葉ですが、哲学者たちは今も答えを探し続けています。考えることが好きな人へ。

『青空のむこう』

アレックス・シアラー著 金原瑞人訳 求竜堂 933-シ

今とつぜん死んでしまったら、やり残したと思うこと。主人公ハリー少年にとっては、姉と些細なことではけんかして仲直りしていないことでした。自分がない世界に何か一つ残せるとしたら、あなたなら何を残したいですか?

芥川賞・直木賞発表!

7月15日に選考委員会が開催され、第175回(2026年上半期)芥川賞、直木賞が選ばれました!

☆ 芥川賞

『ゾンビ回収婦』
小砂川チト 講談社

AIがさらに発達した世界。仕事を奪われ、求めた居場所は仮想空間の中だった。

☆ 直木賞

『けんぐわい』
朝倉かすみ 光文社

父を亡くしたふゆは手習師匠の手伝いに出された。命と向き合う時代小説。

『アンネ・フランク パネル展』

10月2、3日三商祭 音楽室前にて開催

図書館特設コーナーで関連書籍展示中

10月2、3日の三商祭に音楽室前で催される「アンネ・フランク パネル展」に先立ち、図書館では関連書籍を展示しています。

アンネ・フランク・ハウスが寄贈してくださった本もあります。どうぞご覧ください。



★ 新着図書 Pick Up ★

9月もまだまだ暑い！クーラーの下でお過ごしの際はぜひ図書館へ(^_^)



「夏帆」村上春樹 新潮社 913.6-ム

村上春樹の新作は絵本作家の女性が主人公。あることがきっかけで絵本の中のようなファンタジー世界に迷い込んでいきます。アリクイ夫婦、シロアリ女王、読みやすいおとぎ話のような物語です。村上ワールドの扉をこの本で開けてみよう。



「思い出すときには、すべてのものがまるくなっている」大前栗生 左右社 913.6-オ

同じ学校、同じクラスにならなければ交わることはなかった。恋愛が分からない夏莉(なつり)たち登場人物は、それぞれの葛藤を抱えて高校時代を走っていきます。確かに青春のただ中はまるくない。

「高校生のマネしたくなる勉強法」いゆび 実務教育出版 375-イ

「勉強しなきゃいけないの?」「モチベーションが続かない」「テストで点を伸ばしたい!」そんな風に思ったことのあるあなたにはこの1冊。本の中にはきっと助けになるヒントが。



SDGs コーナーの紹介

毎年9月末の約一週間は、国連でSDGsが採択された日(9月25日)にちなんで「SDGs週間」(Global Goals Week)となっています。図書館のSDGsコーナーで持続可能な社会のこと、改めて考えてみませんか。



9月のカレンダー

※開館スケジュールは変更される場合があります

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

□ 8:35 ~ 16:45
 ■ 13:35 ~ 16:45
 ■ 閉館

★★ LibFinder を活用しましょう! ★★

右のQRコードを読み込んでアクセスパスワードを入力すれば、新着図書をチェックしたり開館スケジュールを確認したりできます。

パスワード: